

■さらなる市場開拓、販売拡大へ

●アメリカ駐在拠点開設

2013年10月にアメリカ、シカゴに駐在拠点を開設いたしました。アメリカ地域における世界最大手の航空機エンジンメーカー、建設機械メーカー、ベアリングメーカーへの納入実績をもとに、大手企業をはじめ、中堅・中小企業といった幅広い企業からの需要獲得を推し進めてまいります。

当社の海外駐在拠点は、中国・北京、フランス・パリを含め3拠点となります。今後とも人員拡充等サポート体制の強化を図り、グローバルマーケット開拓を加速させてまいります。

●メカトロテックジャパン2013

2013年10月23日～26日の4日間、なごやポートメッセにてメカトロテックジャパン2013が開催され、当社から新機種であるSVG-3Tをはじめ、Vertical Mate®5.5、TGN30/80の3機種を出展いたしました。当社ブースには多くのお客様にご来場いただき、熱意のこもった商談が行われました。また当社製品の研削技術に対して高い評価をいただき、会期中に多くの受注をいただくことができました。

●新製品発表「SVG-3/3T」、「Vertical Mate®35」

2013年10月16日に小型立形複合研削盤「SVG-3」及び「SVG-3T」、2013年11月1日に汎用立形複合研削盤「Vertical Mate®35」を発表いたしました。

当機種を新たにラインナップに加え、よりお客様のニーズにマッチした製品のご提供に尽力してまいります。



SVG-3T

小型・中型部品加工向け
小型立形複合研削盤。



Vertical Mate® 35

シンプル&リーズナブルな
汎用立形複合研削盤。

(2013年9月30日現在)

●設立年月日	1986年3月14日
●資本金	7億32万8,200円
●発行可能株式総数	9,000,000株
●発行済株式の総数	2,978,200株
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
●従業員	174名
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造 及び販売

●ネットワーク

国内拠点	本社・工場(長岡)	海外駐在拠点	中国(北京)
	東部営業所(さいたま)		フランス(パリ)
	中部営業所(名古屋)		アメリカ(シカゴ)
	西部営業所(大阪)		

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
------	--

特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
-----------------	---------------

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
------	---

上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
---------	-----------------------

公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.taiyokoki.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
-------	---

ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページよりご覧いただけます。



<http://www.taiyokoki.com/>

第29期 Business report(中間期)

2013年4月1日～2013年9月30日



株式会社 太陽工機

(証券コード:6164)

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第29期中間期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

代表取締役社長 渡辺 登

当中間期の営業概況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策への期待により円安株高が進行し、景気回復の兆しが見られております。

工作機械業界においては、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(2013年1月1日から9月30日まで)が前年同期比で14.9%減少いたしました。外需はアメリカの自動車関連や航空機関連が堅調に推移し、内需においても、自動車関連、航空・造船、工作機械関連企業を中心に受注状況は好転しつつあります。

こうした状況下において当社は、本社工場を利用したプライベートショーや中国国際工作機械見本市(CIMT2013)、グループ企業主催の展示会に出展し、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こすことで、確実に受注につなげてまいりました。

これにより、受注状況は内需外需ともに徐々に増加してきており、需要回復の兆しが見えてまいりました。国内においては、自動車部品関連企業からの複数台受注の獲得や一般産業機械関連企業の堅調な需要の取り込み成功し、海外においては、アメリカをはじめ中国、欧州等の幅広い地域の現地ユーザーからの新規受注を獲得しております。

製品面では、小型立形複合研削盤SVG-3/3T及び汎用立形複合研削盤 Vertical Mate®35を発表し、当社製品のさらなる成長を図っております。

当第2四半期累計期間の受注高は2,281,917千円(前年同期比22.3%減)となりました。

売上高につきましては2,050,612千円(前年同期比26.8%減)となりました。

損益につきましては、実績は営業利益48,004千円(前年同期比84.6%減)、経常利益25,839千円(前年同期比91.1%減)、四半期純利益7,347千円(前年同期比97.2%減)となりました。

当中間期の業績

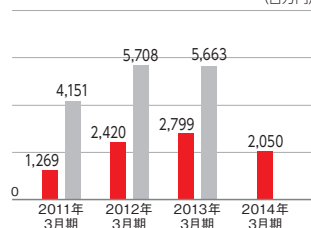
売上高
20億50百万円
(前年同期比 26.8%減)

営業利益
48百万円
(前年同期比 84.6%減)

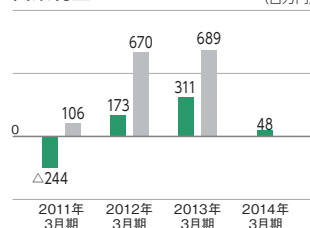
経常利益
25百万円
(前年同期比 91.1%減)

四半期純利益
7百万円
(前年同期比 97.2%減)

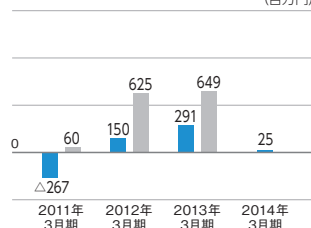
売上高 (百万円)



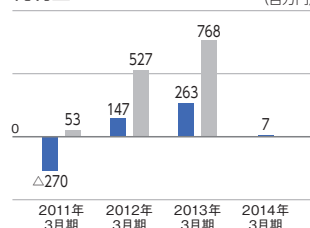
営業利益 (百万円)



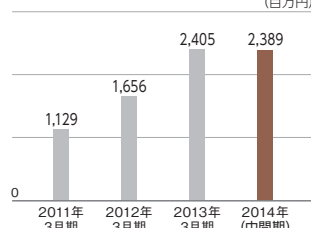
経常利益 (百万円)



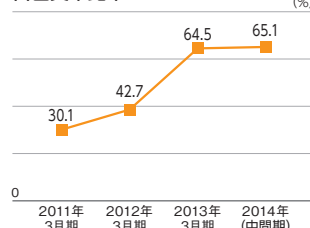
純利益 (百万円)



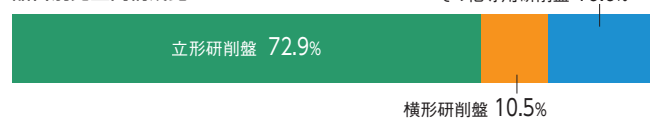
純資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



品目別売上高構成比



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前期末 2013年3月31日現在	当中間期末 2013年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	2,367,070	2,325,847
固定資産	1,339,769	1,323,897
(有形固定資産)	(1,290,639)	(1,271,323)
(無形固定資産)	(6,646)	(4,787)
(投資その他の資産)	(42,482)	(47,786)
資産合計	3,706,840	3,649,744
【負債の部】		
流動負債	485,825	475,430
固定負債	815,661	785,313
負債合計	1,301,486	1,260,744
【純資産の部】		
株主資本	2,390,270	2,377,367
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	470,126	471,856
利益剰余金	1,266,363	1,244,481
自己株式	△46,548	△39,298
新株予約権	15,083	11,633
純資産合計	2,405,353	2,389,000
負債純資産合計	3,706,840	3,649,744

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前中間期 自2012年4月1日 至2012年9月30日	当中間期 自2013年4月1日 至2013年9月30日
売上高	2,799,747	2,050,612
売上原価	1,992,879	1,452,206
売上総利益	806,867	598,406
販売費及び一般管理費	495,194	550,402
営業利益	311,673	48,004
営業外収益	6,051	1,541
営業外費用	25,944	23,706
経常利益	291,779	25,839
特別損失	8,271	—
税引前四半期純利益	283,508	25,839
法人税等合計	19,959	18,492
四半期純利益	263,549	7,347